【川崎フロンターレ】2024Jリーグ新人研修　クラブ運営サポート活動レポート
山内　日向汰、由井　航太

2024 年 7 月 14 日(日)、ホームゲームのセレッソ大阪戦で、山内　日向汰　選手、由井　航太　選手が新人研修としてクラブ運営サポートを行いました。

◇今回の研修活動目的
試合運営を実際に体験することで、どれほど多くの人達によって支えられているかを理解し、感謝の気持ちを持ってこれまで以上にサッカーに向き合っていくため。

◇活動内容
①ボランティア朝礼への参加（部署：後援会）
ボランティア活動を行うときの注意事項やルール確認やグループの代表者から挨拶があった。その後、選手からボランティアの方々に挨拶し、日頃の感謝と当日の意気込みを伝えた。

②座席清掃（部署：後援会）
メインスタンド 1 階の座席をボランティアの方々と共にタオルで清掃した。開門前に観客が気持ちよく試合観戦できるように作業してもらっていることに選手たちは改めて感謝していた。

③ボランティア・マッチデープログラムについての説明（部署：後援会・広報）
マッチデープログラム販売の手伝いの前に広報部からどのようにして作成されているか説明を聞いた。デジタルが普及している中、紙媒体で販売する意図や作成にかける思いなど選手は興味深く聞いていた。
その後、ボランティアの立ち上げの経緯や歴史、活動内容などを後援会の担当者から説明を受けた。

④フロンパークでイベントの手伝い（部署：プロモーション）
この日は「＃Are You LADY?」と題した女性向けのイベントや縁日のようなブースが並び大盛況だった。そんな中、山内は浴衣の着付けブース、由井はうちわ作りのブースに飛び入り参加し、ファンと交流した。その後、二人揃って、輪投げや射的ブースなどを訪れ、終始笑顔で積極的に交流した。

⑤マッチデープログラム販売の補助（部署：広報）
フロンターレ神社横でマッチデープログラムの販売を手伝った。前節の表紙が山内だったこともあり、サインを入れて今節分と同様に販売した。二人とも足を運んでくれたサポーター一人一人に丁寧に対応して、感謝の気持ちを伝えていた。

⑥会場運営の説明（部署：運営）
運営部の担当者から試合運営について様々な話を聞きました。安全面で注意していること、サポーターとどうコミュニケーションをとれば試合を盛り上げられるかなど試合の裏側で行われていることに選手も興味津々だった。二人ともアカデミー出身ということもあり、サポーター側の視点も持っており、試合観戦時のエピソードも面白かった。

⑦セレモニーキッズと写真撮影
最後にこの日セレモニーキッズに選ばれていた小学生とマスコットと一緒に写真撮影を行った。生で見る選手に目を輝かせる子供たちに選手も優しく話しかけ緊張をほぐしてあげていた。

◎選手のコメント
山内　日向汰 選手
試合を開催するために様々な人が関わっていただいていることを今回の研修を通して知ることができました。感謝の気持ちを忘れずにプレーしていきたいです。

由井　航太 選手
日頃からいろいろな場面でサポートしていただいている意識はあったが、これだけ多くの方が関わっていることに驚きました。常に感謝の気持ちを持ってプレーしたいと思いました。

写真提供／川崎フロンターレ

新人由倉中

マッチデープログラム
400円
マッチデープログラム販売ブース
FUJITSU

【川崎フロンターレ】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
山内　日向汰、神田　奏真、由井　航太

2024 年 10 月 15 日（火）、川崎フロンターレ末長事務所と川崎市平間商店街で山内　日向汰選手、神田　奏真　選手、由井　航太　選手がシャレン！活動を行いました。

①　地域・社会課題：地域社会の活性化　（クラブと地域社会のかかわりを深める）

②　協働者：　株式会社川崎フロンターレ/クラブ OB/川崎市平間商店街

③活動概要や内容、目的
クラブの現状、これまでの歴史、地元商店街との取り組みなどを社長や　OB　選手、または地域の方から直接話を聞くことで、サッカークラブが地域に根付くことで地域の活性化につながることを学ぶ。また、改めてたくさんの方がクラブを支えてくれていることを知る機会を作ることができた。

※中西哲生クラブ特命大使、吉田明宏社長からの講話
クラブ発足時からの地域とのかかわり方や現状、クラブの事業規模や今後の戦略など事業面においての具体的な話を聞くことができた。　また、中西氏からは一流の選手になるためのヒントを聞くことができた。
※平間商店街ポスター配布、挨拶まわり
普段、事業部スタッフが行っている商店街でのスケジュールポスターの配布、張り替え活動を選手自身が行った。その際に商店街の方々と直接触れ合うことができ、たくさんの激励をいただいた。その後、商店街の会長より商店街側から見たクラブと商店街のつながりや歴史の話を聞かせていただいた。

◎選手のコメント
山内　日向汰　選手
サッカー選手としての価値、自分自身の価値を高められるように行動する大切さを学びました。フロンターレというクラブは色んな人が関わって積み上げてきたクラブ。そのバトンを受け取ってフロンターレの選手としてプレーしているので、自覚をもって何事にも取り組んでいきたいです。

神田　奏真　選手
中西さん、吉田社長の講義では様々な学びがありました。いまの自分にとって大切なことも教えてくださったので今後に生かしていきたいです。商店街では、仕事が忙しくても川崎フロンターレの結果を気にして応援してもらっていることを知りました。そういう方々に恩返しするために感謝の気持ちをもってプレーしたいと思いました。

由井　航太　選手

応援してくれている人に対して挨拶など基本的な対応ができることが、サッカー選手として応援してもらうために大切だと再確認できました。早く試合に出ていろんな方の期待に応えたいと思いました。

写真提供／川崎フロンターレ